

鈴木正四 すけじ（西洋史學者。大正二年一月十一日山形縣生れ（一九〇一）。
昭和十一年東京帝國大學文學部西洋史學科卒。翌年外務省嘱託、十六
年綜合インド研究室研究員。戦後はナウカ社編輯長等々經り、二十一
年愛知大學教授。歴史學研究所屬。

著書『セシル・ローツと南アフリカ』（昭和十六年七月）、『白樺文館

「大陸發展叢書」）、『歴史家は天皇制をどう見るか』（合著・歴史

學研究會編。昭和二十一年九月一日新注社、再刊。二十四年四月一日

（二）書房）、『民主主義革命』（昭和二十二年九月五日岩波書店「新

とき歩みのため」）、『市民革命の研究』（合著、昭和二十二年十

一月一日京都・（二）書房）、『フランス革命』（昭和二十六年二月十

日福村書店「中學生歴史文庫・西洋史」）、『祖國の解放』トルコの

場合』（昭和二十七年一月十五日岩波書店「岩波新書」）、『セシル

・ローダー帝國主義者・植民地主義者の典型』（昭和二十五年十一月

十五日誠文堂新光社「歴史の人間像」）等。

